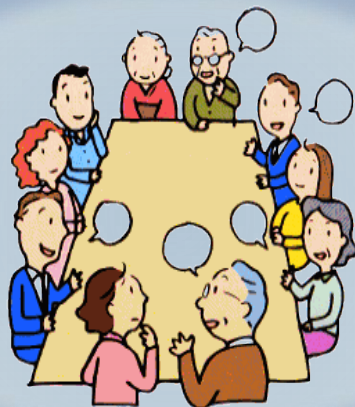


# うわぬま 元気プロジェクト！

## 上沼地区まちづくり計画策定事業 実施報告書



平成26年3月13日

発行 上沼コミュニティ運営協議会

作成 上沼地区まちづくり計画策定委員会・同作業部会  
事業支援 登米市企画部市民活動支援課・中田総合支所市民課  
業務委託 特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

# うわぬま 元気プロジェクト！

## 上沼地区まちづくり計画策定事業実施報告書

### 目次

1. はじめに  
上沼コミュニティ運営協議会 会長
2. 策定事業に取り組んで  
上沼地区まちづくり計画策定委員会 委員長
3. 事業の概要
  - ① 計画づくりに取り組む背景
  - ② 計画づくり策定の目的
  - ③ 計画策定の方針と期待する効果
  - ④ まちづくり計画策定体制
  - ⑤ 事業実施経過
  - ⑥ 目標の達成度合いと効果測定
4. 行動計画の内容
  - ① 趣旨
  - ② 行動計画の内容
  - ③ 個別行動計画書
5. 今後の取り組み
6. 資料編
  - ① 上沼地区まちづくり計画策定事業 行動計画一覧表
  - ② 上沼地域カルテ
  - ③ 基礎資料

## 1. はじめに

上沼コミュニティ運営協議会 会長 浅野盛志

上沼地区まちづくり計画策定事業は、上沼コミュニティ運営協議会が登米市より平成25年度地域づくり計画策定支援交付金を受けて取り組んだ事業です。自分たちが住んでいる地域のことについて多くの人が話し合っ、良いところや課題をみつけ、改善や新しい対応策を考える『上沼を元気にするまちづくり計画』です。

振り返ってみると、事業の概要を協議した策定委員会を3回、地域理解や課題整理を通して行動計画づくりを行った作業部会を7回開催。この間、上沼地区全世帯に住民アンケートを実施し、たくさんのご意見をいただきました。また委員が先進地視察を行い「地域づくり活動」について研修しました。

このような経過で、今回の事業の目標である行動計画が出来上がりました。来年度以降の具体的な取り組みに引き継がれることを期待します。

終わりに、上沼ふれあいセンターに集合して夜遅くまで取り組んだ委員の皆さん及びアンケートやご意見カード記入にご協力いただいた地域住民各位に感謝いたします。また事業支援の登米市企画部市民活動支援課、中田総合支所市民課、このプロジェクトをサポートしていただいたNPO法人故郷まちづくりナイン・タウンに御礼申し上げます。

## 2. 策定事業に取り組んで

上沼地区まちづくり計画策定委員会 委員長 遠藤教義

上沼地区まちづくり計画とは？ 何から始めれば？

そこで計画を策定するにあたり支援をNPO法人故郷まちづくりナイン・タウンをお願いをしました。はじめに地域住民のみなさんから意見を求めることにしてアンケート調査をさせていただきましたが、意見の集約・協議は作業部会でテーマごとのグループ討議で行われました。討議にあたっては「意見を否定しない」「全員が意見を出す」というルールを決め、多くの課題・問題点を抽出。それらを解決するための計画づくりが進められ「計画を即実行できること」「数年かけて実行すること」に大別しながら、この事業の目標である行動計画が出来上がったのです。このようなことはメンバーの多くが今まで経験したことのないことでしたので新鮮な思いで回を重ねることができました。

作業にあたりましては、夜遅くまで各方面（NPO法人、市担当者、各行政区）より多くの方々のご協力・ご支援をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 3. 事業の概要

#### ①計画づくりに取り組む背景

登米市は市制施行（平成17年）して以来、平成18年に策定された「登米市総合計画」において「市民との協働による持続的な発展」を目指して「市民参画型のまちづくり」を理念として各種施策が実行されてきた。

平成24年4月1日には協働のまちづくり基本条例が施行され、市民の参加補償、自主性確保などを基本理念として、具体的な推進策である《人づくり、条例づくり、拠点づくり、計画づくり》の「協働4づくり事業」が進められている。

当上沼地区では平成15年の地方自治法改正を機に、「上沼コミュニティ運営協議会」が、平成17年3月1日より「上沼ふれあいセンター」の指定管理団体となった。現在では住民による自主的な地域活動が盛んに進められており、各行政区でも様々な地域づくりに取り組んでいる。

かつては自然豊かな農村地帯にあって住民のほとんどが農業（または関連した生業）に従事していた上沼地域は、仕事と暮らしが密接につながり合った共同体として地域行事や課題解決にあっていたが、1次産業離れ、核家族化などの生活環境の変化に伴い地域共同体の活動は、個人の暮らしとのつながりが弱くなってきている。

#### ※用語の説明

- **コミュニティ組織等**とは：行政区や自治会など、概ね小学校単位に地縁で結びついた組織の事を言い、地域のつながりによってまちづくりに関わりながら活動する組織や団体のことを言います。
- **協働**とは：市民と行政などが、まちづくりに関する共通の目標を持ち、その実現に向かって個々の持っている力を最大限に活用し、互いの信頼関係のもと、協力してまちづくりに取り組むことです。
- **地域課題**とは：一定の地域内にあって、そこに住む住民や組織に影響を及ぼすことが考えられることです。たとえば、病害虫や水質悪化、ごみ処理、病院、歩道整備など種類も内容もたくさんあります。
- **基本条例**とは：登米市では、平成24年4月1日に「登米市まちづくり基本条例」として施行されています。条例では市民の参加補償、自主性確保、協働による持続性などを基本理念としており、行政や議会の役

割も明記し、それぞれの持つ力を効果的に発揮して地域づくりを行うための登米市をかたち付ける基本となる条例です。

- **市民**とは：市内に居住する住民に限らず、市内に通勤通学する人や、事業を営む個人、法人、市民活動団体、コミュニティ組織等もまちづくりを担う役割と責任を有することから「市民」としています。  
地域住民は、この定義の中に位置します。
- **市民活動**とは：市民が公益的な課題を見つけ出し、自主的に取り組む営利を目的にしない公益的な活動のことです。
- **NPO**とは：平成10年3月25日に施行された特定非営利活動促進法により設置された法人のことです。（営利活動を行ってはいけないのではなく、営利活動を行っても構成員に利益の分配はできず、生じた収益は再度事業活動に入れることで、国や県に認定された団体）
- **ワークショップ**とは：一方通行的な知識や技術の伝達ではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したり、まとめたりする双方向的な作業による意見集約方法のひとつ。

## ②計画づくり策定の目的

### 《自らの地域は住民自らの積極的な参加のもとでつくる》

行政や地域内外の団体等の力を活かして協働で地域づくりをするためには、地域が独自性を持って自立していなければ、協働は成り立ちません。

現存するいろいろな課題解決ができる将来の地域づくりに欠かせない協働4づくり事業のうちの「計画づくり（地域づくり計画）」は地域独自の取り組みであるため、地域の将来設計を地域住民が主体となって推進することとなりました。

このことから、上沼コミュニティを一定の生活範囲として、共通する問題や課題を明らかにして情報共有を図り、解決するための指針とすることを目的として策定します。

### ③計画策定の方針と期待する効果

#### 策定方針

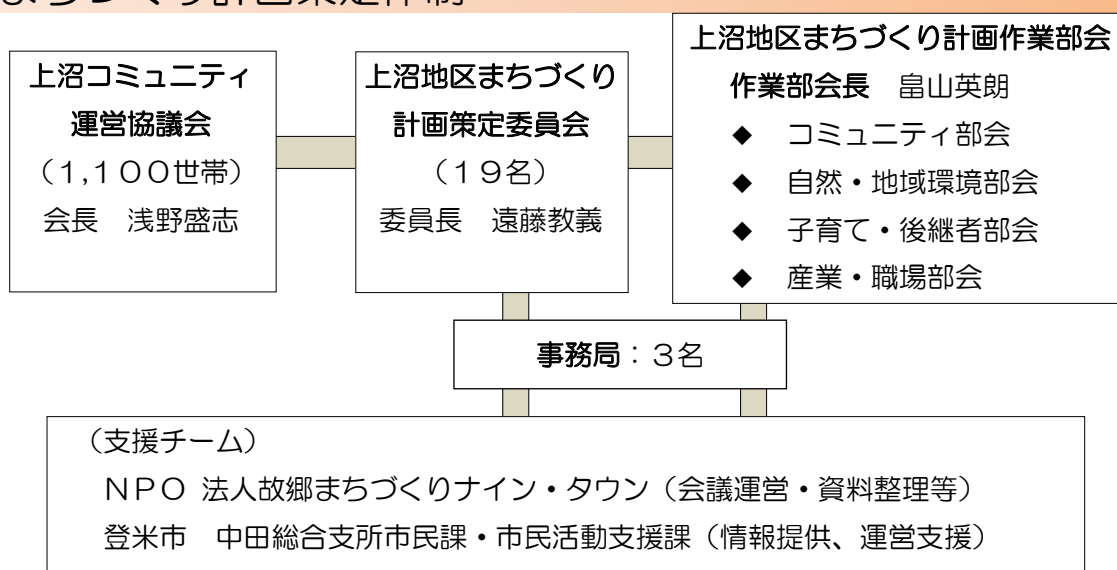
「上沼地区まちづくり計画」は、地域住民の声を多く集め、今後3年、5年と中長期にわたる地域の各種課題を整理し、改善策を検討して、行動計画をつくる。その後一定期間ごとに見直しを図りながら、計画の実現性を高めることとする。

また、作成する際には行政や企業、NPOなどと連携して、より良い計画策定の為の組織づくりと、仕組みづくりを進める。

#### 期待する効果

- 1) 地域住民の意見を広く集める仕組みづくり
- 2) 住民意見の集約と委員の協議による「地域課題抽出と整理の場」づくり
- 3) 「地域課題」を解決するための「推進組織・人」づくり
- 4) 行動計画の策定
- 5) 住民同士の意思疎通充実化（共有化）

### ④ まちづくり計画策定体制



## ⑤事業実施経過

### 1) 策定委員会の開催

第1回策定委員会 : 18名参加

平成25年7月11日(木) 20:30~21:00 ふれあいセンター和室  
・『地域づくり計画策定支援交付金申請』について

第2回策定委員会 : 22名参加

平成25年8月23日(金) 20:00~21:00 ふれあいセンター研修室  
・事業企画書の説明  
・プロジェクトキャッチコピー  
・アンケートについて  
・作業部会メンバーについて  
・ワークショップの進め方について

第3回策定委員会 : 22名参加

平成25年9月5日(金) 19:30~20:20 ふれあいセンター研修室  
・住民アンケートの見直しについて  
・作業部会メンバーの選定について

### 2) 住民アンケートの実施

調査期間：平成25年9月19日(木) から9月27日(金) まで

調査対象：上沼地区全世帯(1,100世帯)

記入対象者：1世帯1枚(基本データ：世帯主、意見カード：16歳以上の家族)

調査方法：行政区長を通じて各世帯1枚ずつ配布し、回収は専用封筒で行政区長に提出。

集計作業：10月2日から10月23日まで

調査項目及び調査結果：本報告書、資料編掲載

- ・基礎アンケート回収率 52%(1,100世帯中572世帯回収)
- ・ご意見カード：507件の提出

### 3) 作業部会の開催

行動計画づくりを行うために、地域の課題出しや資源の整理を行うために作業部会を開催した。その都度ワークショップ等で意見集約を図るなど、多数の意見を効率的に集約しながら議論を深めることができた。

**第1回作業部会 10月25日(金) 19:00-21:10 ふれあいセンター和室**  
29名参加

実施内容(ねらい)	取組の成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>概要の把握</li> <li>運営方針の把握</li> <li>アンケート分類作業による、地域課題の把握と整理</li> <li>テーマ【共有性】の理解</li> <li>目的は【計画づくり、人材育成、仕組みづくり】</li> <li>ワークショップルール、マナーの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート1,100世帯中572世帯回収(回収率52%)</li> <li>基礎調査以外の個別意見は507件ありカードの分類が行われた。</li> <li>すべての個別意見を読みながら分類作業を行ったので、委員の理解が深まった。</li> <li>コミュニティ班は件数が膨大で、作業が困難であった。</li> </ul>

**第2回作業部会【視察研修】 11月7日(木) 8:30-17:30**

22名参加

視察先

- 1) 特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会
- 2) 特定非営利活動法人 鳴子の米プロジェクト



視察目的：団体の成り立ちと活動内容（地域資源の活かし方）について  
地域での「地域づくり活動」について

実施内容(ねらい)	取組の成果
1. 先進事例を見聞し、計画づくりの参考とする	両事例共に具体的な成果の出ている事業であり、計画づくりでも活動を進めるうえでも参考になった。
2. 地域課題の捉え方を学ぶ	課題は地域によって違うものの、どう捉えて、取り上げるべきか理解が進んだ。



3. 地域資源の活かし方を学ぶ	地域にある施設や産物が未活用である場合、それを活用する考え方が大切だ。
4. 人材育成について学ぶ	資源があるだけでは、活かさない。活かすための志を持った人と、その人を育てようとする周囲の人材が必要だ。
5. 参加者の親睦を図る	移動距離も長く、2カ所で話を聞く行程では、現地の見聞だけになり、参加者同士の意見交換が少なく、帰りの車中で全員がひとことを述べることで終わった。

第3回作業部会 11月30日(土) 16:00-21:00 ふれあいセンター研修室  
26名参加

実施内容 (ねらい)	取組の成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域資源整理</li> <li>• 課題出し</li> <li>• 項目づくり</li> <li>• 行動計画づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テーマごとに地域資源を抽出できた。</li> <li>• ご意見カードをもとに、委員が協議して課題の整理を行った。</li> <li>• 取り組むべき項目がまとまった。</li> <li>• 行動計画の項目ができた。</li> </ul>



第4回作業部会 12月7日(土) 13:00-14:30 ふれあいセンター研修室  
17名参加

実施内容 (ねらい)	取組の成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の強みを活かす</li> <li>• 課題解決するためのアイデア出し</li> <li>• 対象者の絞り込み</li> <li>• メンバーのアイデア共有</li> <li>• 基本部分をつくる</li> <li>• 個人プレゼンにより事業の共有化を図る</li> <li>• 個人プレゼンにより、事業の伝え方を練習する</li> </ul>	<p>さまざまな事情により、欠席者が多いことから、内容を変更して、前回の作業で不足していた項目づくりのための分類作業のみ実施して、1時間程度で終了した。</p>

第5回作業部会 12月17日(火) 19:00-21:30 ふれあいセンター  
28名参加

始める前には仲間意識を強めるために輪になって「ボールまわし」や「フラフープ落とし」などで盛り上げてからスタート。



ワークショップにて分類項目整理済の資料を基に要因分析（SWOT）図の整理分類を進める。

実施内容（ねらい）	取組の成果
<p>最終班編成</p> <p>その中から機会と資源を活かし、課題解決するアイデアを出す</p> <p>①出されたアイデアをテーマごとに4種類に絞り込む</p> <p>②1種類だけでも、完成形を作成する。</p> <p>③現実的に実効性の上がる内容につくりこむ</p> <p>④地域住民の参加意欲を促す情報発信方法を考える</p>	<p>班編成（テーマ）</p> <p>1班（つながり） コミュニティ・高齢・安全・安心・防災</p> <p>2班（上沼らしさ） 自然・地域環境・歴史・文化</p> <p>3班（人づくり） 子育て・後継者</p> <p>4班（なりわいづくり） 産業・職場</p> <p>①・②・③については、【次の手シート】による具体策の検討を行い、それぞれのテーマ分野から1種類を抽出して、具体的に取り組む際の計画づくりを行った。</p> <p>今後、行動に移す際には【次の手シート】を活用して意見のとりまとめを行うことが合理的と考える。</p> <p>④の情報発信については次回原案をもとに検討することとなった。</p>

第6回作業部会 1月22日(水) 19:00-21:10 ふれあいセンター研修室

22名参加

これまでの作業部会で行ってきた結果から、行動計画としての原案をもとに行動計画の検討を重ねる。

合わせて、住民のみなさんに知ってもらうためのお知らせ方法等について検討する。

- ①ご意見カードの再確認
- ②地域づくり計画の原点とは？
- ③行動計画一覧の作り込み
- ④上沼地域カルテの作り込み
- ⑤元気プロジェクトの広報について
- ⑥今後の取り組みについて

実施内容（ねらい）	取組の成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動計画書としてのまとめを作成する</li> <li>・ 地域住民の参加、参画を促す方法をつくる</li> <li>・ この計画は上沼の将来をつくり上げる基礎になることを伝える</li> <li>・ できるだけ幅広い住民の参加が得られるように配慮する</li> <li>・ 次年度計画に取り入れられるように具体性を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 507件全てのご意見を一覧にしたものを、20分間かけて委員全員で読み返すことで、行動計画に記載した内容に対する基準の確認ができた。</li> <li>②地域づくり計画がなぜ必要なのかを、原点を振り返るために30分間インタビュー伊藤氏が講話した。</li> <li>③行動計画をテーマごとに優先順位を付けてから、テーブル（テーマ）内で最終確認して発表を行い参加者が共有した。</li> <li>④広報については全体説明会と全戸配布するダイジェスト版で行うこととした。</li> <li>⑥今後は地域課題の受け皿や、政策提案に向けた組織として「うわぬま元気プロジェクト委員会」（仮称）を常設化した窓口の設置が望まれるとの提案に、設置の方針は確認したが詳細は今後更に協議することとなった。</li> </ul>

## 第7回作業部会 2月14日(金) 19:10-20:30 ふれあいセンター研修室

24名参加

- 1) 最終報告書の審議
- 2) 住民広報の具体的計画
- 3) 次年度取り組みの具体策

内容(ねらい)	取組の成果
①報告書の精度を高める ②住民への説明がしやすい資料であるか、わかりやすいものか確認 ③協議会としての実施スケジュールの方向性確認 委員会(作業部会)から協議会への答申(報告書提出日)の確認	① 行動計画一覧表の最終確認を班ごとに行い発表。 ② 住民への報告・周知方法について → 報告会を開催する。 日時：平成26年3月13日(木) 午後7時00分～ 場所：上沼ふれあいセンター ・上記以前に行動計画表を全戸配布

## ⑥目標の達成度合いと効果測定

### 1) 委員会の開催

- ・開催回数は当初予定どおり実施した。
- ・開催内容は第4回目の出席者が少なかったため、予定内容がこなせず次回以降に影響が出たものの、原案をつくり込んで作業部会を開催したので、結論付けが早まった。
- ・委員の出席率は総じて高く、活発な会議であった。

### 2) 住民意見の集約

- ・住民アンケートをとることができたことは、そのこと自体が上沼地域で「計画づくり」が行われるという周知ができたことで効果があった。
- ・回収率は52%と、反応が薄いようにも思えるが、行政区別のデータを確認すると、世帯数の多い行政区の回収率が特に低いことから全体の割合を下げており、それ以外の行政区を見ると80%近くの回収率があることから、参加意識は総じて高いと思われる。
- ・この傾向はご意見カードの回答にも表れており、多くの方から507件の言葉(言霊)が寄せられたことは、コミュニティが独自に集めた意見としては非常に貴重な意見だと評価できる。
- ・意見を集約し、一覧表に仕上げることは、今後のコミュニティ行事の見直しや安全対策、地域づくりの後押しとなる貴重な声として、活用ができる。

### 3) 具体的行動計画の立案

行動計画は

- ①行政に頼んで実施してもらうこと
- ②住民が自分たちで実施すること
- ③行政や企業と力をあわせて協働で行うことの3項目に分類して、作成することができた。

## 4. 行動計画の内容

### ①趣 旨

この行動計画は、上沼地域の住民が行動するための計画です。

この中では特に「住民の役割」が非常に重要になります。

ご意見カードやワークショップで出された中からまとめ上げた計画であるので、「上沼住民による上沼住民のための計画」であり、示された事業や作業を行う時には、住民への呼びかけはもとより、参加しやすい方法などが求められます。その場合、意思疎通ができていないと負担感や義務感が先に立ち、策定した計画が実行できなくなる事態が起きてしまいます。

上沼の住民一人一人が今回の行動計画を【自分ごと】として考えることができるまで、リードしていくことがカギとなります。

### ②行動計画の内容

資料編に一覧表として掲載（住民説明用資料として、ダイジェスト版作成）

### ③個別行動計画書（取り組みシート）

参考資料として事例を添付した。今後個別事業を進める際には事例のような様式などで、意見のまとめと具体策を検討される際に活用する。

課題を基にした今後の取り組みシート（処方箋）

No.テーマ	
課題	（現状の問題点と目指す方向）
事務局受付	受付（起案）年月日 年 月 日

提案元と 対応先	提案元 ○○行政区 担当者：○○ ○○他 対応先 登米市役所○○○課 担当者 ○○○○
	提案事業名：
要望・意見	(解決策)
ねらい	(理想)
具体的な手段	実施内容・計画(時期と進捗)
	収支予算(事業費)
	実施主体とそれぞれの役割 地域： 組織： 行政：
取組状況等	(会議の開催状況や外部団体等との活動記録)
成果と課題	(最終成果と新たな課題)
今後の取り組み	(次の一手と次の目標)

## 5. 今後の取り組み

作業部会で提案されたように、具体的な推進にあたっては、地域住民の役割と積極的な参加、参画が重要になることから、うわぬま元気プロジェクト委員会（仮称）を常設委員会として設置し、寄せられた住民意見の受け皿としての役割と行事の検討や意見の調整、情報の受発信などを継続的に検討し、協議する場があることで住民の安心と安全が保障されることになる。

その組織づくりにあっては、地域住民から意欲を持ち、興味を抱く人が参画しやすい環境づくりをすることがコミュニティ運営協議会に与えられた役割であると考ええる。

また、実行にあたっては組織活動だけではなく、小さなグループや個人としても参加しやすい環境をつくり、協力し合う体制づくりをリードすることで実効性を高める必要があると考える。

今回の地域づくり計画策定のお手伝いをさせていただいた者として、全体を通しての感想、今後の展望を述べさせていただきます。

今回の計画づくりの成果は次の点にあると考えます。

- ①上沼には多くの資源（人、施設、環境、歴史などなど）が眠っていることに気づくことができた。
- ②従来のように行政に頼りきりの地域づくりでは結果が得られない社会になったことに気づく機会になった。
- ③上沼に住んでいる住民が抱える問題や課題を自分のこととして考えることが大切だと気づいた。
- ④地域のいろいろな課題を受け止める場が無かったことに気づくと共に、その解決方法を地域で考える仕組みが無かったことに気づいた。
- ⑤上沼のことを上沼の人たちで仲間意識を持って考える仕組みが整ったこと。

このように、多くの気づきがあったことが、この事業に取り組んだ最大の成果でありますし、一緒に話し合う機会ができたことと、今後も「ふるさと上沼」を話し合える場をつくるためのお手伝いができたことに感謝いたします。今後はこの計画をもとに、より具体的な取り組みが進められることを心から願っております。

ありがとうございました。

特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

事務局長 伊藤寿郎

# 6. 資料論

## ①上沼地区まちづくり計画策定事業 行動計画一覧表

### 上沼地区まちづくり計画策定事業 行動計画一覧表 平成26年度～平成30年度

上沼コミュニティ運営協議会

今回のうわぬま元氣プロジェクトによる「上沼地区まちづくり計画」策定事業は多くの皆様の声を取り入れ、これから5年間の「行動計画」として以下の22項目にまとめました。  
この行動計画により、上沼が地域として自立するためのスタートを切ります。自分たちの地域は自分たちで考え、話し合っ  
て進めていきます。また足りない部分は行政や関係団体と協働して推進していきます。

うわぬま元氣プロジェクト!

No	区分	領域	項 目	次の一歩	着手時期 2～3年 以内	役割分担・主体					
						個人	地域	組織			
1	1 つな が り	コ ミ ユ ニ テ ィ	コミュニティ行事の検討(ふるさとスポーツ祭、体育祭、コミュニティまつり)	検討会議の開催	○	行政区	協議会	協議会	行政		
2			趣味的講座の充実	検討会議の開催	○		協議会	協議会			
3			ユニカールの普及	検討会議の開催	○		協議会	協議会			
4			やまがっこの充実	検討会議の開催	○		育成会	協議会	○	学校	
5			地域コミュニティづくりの課題出し	行政区内への広報	○		行政区	協議会			
6			防災訓練・自主防災組織の充実	防災無線の改善提案	○			協議会	○	消防署 防火隊	
7			高齢者の暮らし支援	二一ズ把握	○			協議会	○	長寿介護課	
8			地域内各種団体の構成員、行事の見直し	全体見直し	○			協議会			
9	2 上 沼 ら し さ	自 然・ 地 域 環 境	道路インフラ老朽化	対策場所のリスト化	○		協議会	○	土木管理課		
10			病害虫対策	場所の確認と年間よみ作成	○		個人	行政区	協議会	○	環境課
11			地域環境整備(空き家、ヘット、草刈り等)	対策場所のリスト化	○			協議会	○	総合支所市民課	
12			観光農園、神社仏閣、遺跡などの地域インフラ活用	資源マップづくり・まち歩き	○		個人	行政区	元気委	○	総合支所市民課
13			施設活用のための計画づくり(例:教養文化・教育文化・生活文化ゾーン)	ゾーニングづくり	○			元気委	○	総合支所市民課	
14			上沼の歴史をDVD化して保存	担当者の選定	○	○	OSキル有	○	教育委員会 生涯学習課 税務センター		
15	3 人 づ く り	子 育 て・ 後 継 者	異世代交流の推進による地域参加の促進	担当者の選定・小学校の行事 に入れる	○		PTA	元気委	○	学校	
16			通学路、危険箇所・公園の整備	リスト出しと課題の整理	○			協議会	○	総合支所市民課	
17			子どもたちの地域参加を促すために地域(ふれあいセンター、児童館)に子どもたちの居場所・参画の場をつくる(花植え、グリーンキャンパインへの参加)	イベントの企画	○			元気委	○	児童館	
18			後継者対策として婚活の取り組み	運営担当者の選考	○		個人	元気委	○	市民活動支援課	
19			子ども遊び場を新しくつくる	必要な行政区の選定	○			協議会			
20			地域の企業育成・誘致活動	受入、交渉窓口の設置	○			元気委	○	商工観光課 新産業対策室	
21			4なり わい づ く り	産 職 業 場	登米総合産業高校との連携	交渉窓口の設置	○		元気委	○	高校・県
22			地元産品直売所の設置・キョウワリやリンゴ、地下資源を生かした産物	事業参加者の募集・マップづくり	○		元気委	○	商工観光課 JA		



## ②上沼地域カルテ

(今後、加除・修正を加えながら充実させていきます)

2014年3月13日作成

地域全体について									
地域名	登米市中田町上沼地区（昭和31年時点：20.11 km <sup>2</sup> ）								
地域運営組織	上沼コミュニティ運営協議会 事務局：登米市中田町上沼字弥勒寺大下90番地1 上沼ふれあいセンター内（北緯38.73，東経141.25） （TEL 0220-34-2002）								
地域の構成	行政区数15 （弥勒寺南、弥勒寺北、金谷、寺山、長根、長崎、冠木、八幡山、本宮、大泉、神ノ木、要害、大柳、新田、籠壇）								
地域の歴史	明治8年10月 上沼、大泉、弥勒寺の三カ村が合併して上沼村。 明治22年4月 町村制施行により上沼・桜場が合併して上沼村。 明治45年4月 中田沼の干拓が完工 大正15年6月 上沼村立実業学校開校（昭和18年上沼農学校に改称） 昭和22年9月 カスリン台風で大泉堤防決壊 昭和31年4月 石森町と宝江村、上沼村、浅水村が合併して中田町 昭和51年3月 大泉機場完成 昭和61年7月 上沼コミュニティ運営協議会設立 平成15年4月 上沼ふれあいセンター開設 平成17年3月 上沼ふれあいセンターの指定管理者となる 平成17年4月 登米市となり、登米市中田町上沼となる。								
年代別人口【総計 3,790 人】・世帯数【1,115 世帯】（平成26年1月31日現在）									
年代	0~4	5~14	15~29	30~44	45~59	60~64	65~79	80~	
人口	123人	327人	488人	590人	738人	375人	669人	480人	3,790人
小計	450人		1,816人			1,524人			
割合	11.9%		47.9%			40.2%			100%
これまでの「地域づくりの取り組み」や主な「地域行事」など  <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり</li> <li>・自主防災</li> <li>・コミュニティ</li> </ul>									

地域内の個別状況				
No.	項目	現 状	特徴 (良いところ)	課 題
1	地区内の 特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県と岩手県の境に位置する、肥沃な土地柄、稲作、果樹、畜産など農業に加えて地域資源活用製造業等が育つ。歴史的な神社旧跡もあり北上川が南北に流れる農村地域である。</li> <li>行政区ごとのコミュニティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な産業がある</li> <li>コミュニティ内の交流が盛ん</li> <li>地域が広い</li> </ul>	<p>地域によって、生活環境に差がある。</p> <p>人口減少が進んでいる。</p>
2	公共施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>官公署</li> <li>学校</li> <li>文化施設</li> <li>上・下水道</li> <li>金融機関</li> <li>病院、診療所</li> <li>福祉施設</li> <li>警察</li> <li>消防</li> </ul>	登米市役所中田総合支所 上沼小学校 上沼高等学校 Satoru Sato Art Museum 登米市中田生涯学習センター 登米市水道・下水道 JA、上沼郵便局 上沼診療所  (通所型介護施設)	生活に必要な資本が整備されている。	<p>将来にわたって、メンテナンスの必要性がある。</p> <p>現在の生活に生かし切れていない。</p>
3	地域内の自治施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>集会所</li> <li>自己管理施設</li> </ul>	○○地区集会所 ○○倉庫	各地区に集会所が整備されている。	維持管理の長期計画が必要
4	指定避難所・安全対策	上沼小学校 自主防災用具の確認 (行政区単位に明細リスト)	(行政区ごとに設置)	近年は洪水などの大災害が無く、緊張感が弱まっている。
5	コミュニティ	コミュニティ運営協議会 上沼ふれあいセンター		<p>常に時代のニーズを把握し、改善対応の仕組みが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性が地域参加しやすい、周辺環境づくりが必要</li> </ul>

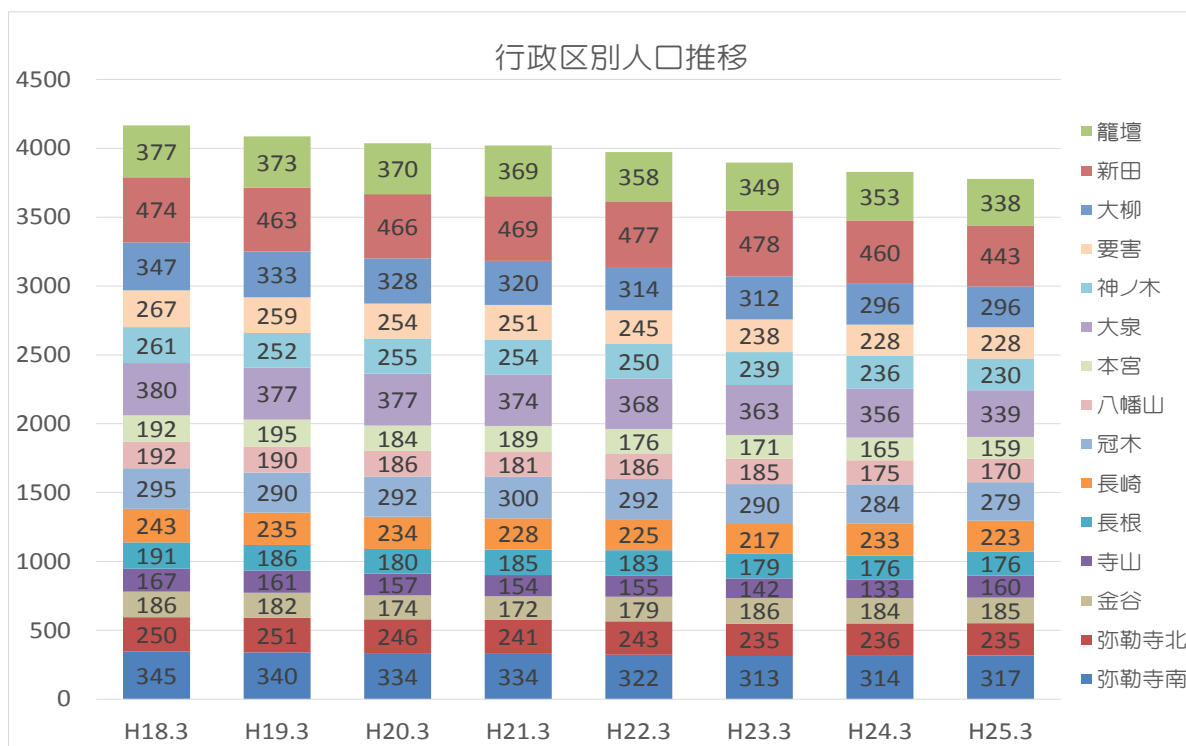
地域内の個別状況				
No.	項目	現 状	特徴 (良いところ)	課 題
6	子ども	上沼小学校 やまがっこ  上沼鳥舞太鼓	異世代との交流 に同世代と異な った活動体験が 得られる	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てしやすい環境づくり、地域づくりが必要</li> <li>地域力を活かした学習活動や子育て</li> </ul>
7	後継者	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代交代ができない。</li> <li>少子化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚対策（婚活）</li> </ul>
8	若者	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的地元志向が強い。</li> </ul>	一定の就労場所がある。	<p>多様で高度な仕事への対応力を育成する仕組み必要。地域参加しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結婚対策</li> </ul>
9	高齢者	高齢化率 30.2%	元気な人が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に出て活躍できる場所と役割づくり</li> <li>孤立化への対応</li> </ul>
10	地域環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>殆どのインフラは整備されている。</li> <li>空家の増加</li> </ul>	国道が 2 本ある	道路、側溝の整備 空家のメンテ・利用
11	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さいながらも沼が多く、親しみやすい。</li> <li>かつて、穀倉地帯の水源地域としての歴史がある。</li> <li>北上川</li> </ul>	山も、川も、沼も親しみやすく、生物も豊かである。	地域の財産として暮らしと一体となった活かし方を検討
12	産業 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業</li> <li>商業</li> <li>工業</li> <li>サービス業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米、果樹、野菜など多様な作物</li> <li>地元商店は減少した。</li> <li>地域資源を活用した製造業</li> <li>関連したサービス業もある</li> </ul>	多様な産業が存在する地域	交流人口の導入
13	雇用 (事業所) <ul style="list-style-type: none"> <li>工場</li> <li>農業団体</li> </ul>			

地域内の個別状況				
No.	項目	現 状	特徴 (良いところ)	課 題
14	健康・スポーツ ・施設 ・イベント	弥勒尊大祭 上沼八幡神社秋季例大祭	日本三弥勒のひとつ	夜間活用（ナイター）できる野外設備が無い
15	レクリエーション ・娯楽施設 ・集会施設	上沼ふれあいセンター サイクリングロード パークゴルフ場 パチンコ店 大手口釣り公園 登米市中田生涯学習センター		
16	観光 ・観光施設 ・イベント			
17	伝統芸能	上沼法印神楽 上沼獅子舞 本宮神楽		
18	神社・仏閣・史跡	弥勒寺・八幡神社		
19	市民活動 ・人材 ・技能、職能			
20	その他			

### ③ 基礎資料

#### 中田町上沼地区 人口推移

		H18.3	H19.3	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3
弥勒寺南	世帯数	109	106	106	107	102	101	103	104
	人口	345	340	334	334	322	313	314	317
弥勒寺北	世帯数	69	69	71	72	71	68	69	67
	人口	250	251	246	241	243	235	236	235
金谷	世帯数	40	39	40	40	41	43	43	44
	人口	186	182	174	172	179	186	184	185
寺山	世帯数	46	45	44	44	44	43	44	71
	人口	167	161	157	154	155	142	133	160
長根	世帯数	47	48	47	49	49	50	49	49
	人口	191	186	180	185	183	179	176	176
長崎	世帯数	62	63	69	66	66	65	66	64
	人口	243	235	234	228	225	217	233	223
冠木	世帯数	73	74	76	76	76	76	76	74
	人口	295	290	292	300	292	290	284	279
八幡山	世帯数	51	50	50	49	50	51	49	48
	人口	192	190	186	181	186	185	175	170
本宮	世帯数	48	49	50	52	49	47	46	45
	人口	192	195	184	189	176	171	165	159
大泉	世帯数	104	106	107	108	106	107	108	100
	人口	380	377	377	374	368	363	356	339
神ノ木	世帯数	71	72	72	73	71	71	70	68
	人口	261	252	255	254	250	239	236	230
要害	世帯数	64	61	59	59	59	60	60	59
	人口	267	259	254	251	245	238	228	228
大柳	世帯数	89	90	90	90	88	87	83	83
	人口	347	333	328	320	314	312	296	296
新田	世帯数	146	149	149	148	150	154	148	143
	人口	474	463	466	469	477	478	460	443
籠壇	世帯数	88	87	92	92	90	88	90	88
	人口	377	373	370	369	358	349	353	338
計	世帯数	1107	1108	1122	1125	1112	1111	1104	1107
	人口	4167	4087	4037	4021	3973	3897	3829	3778



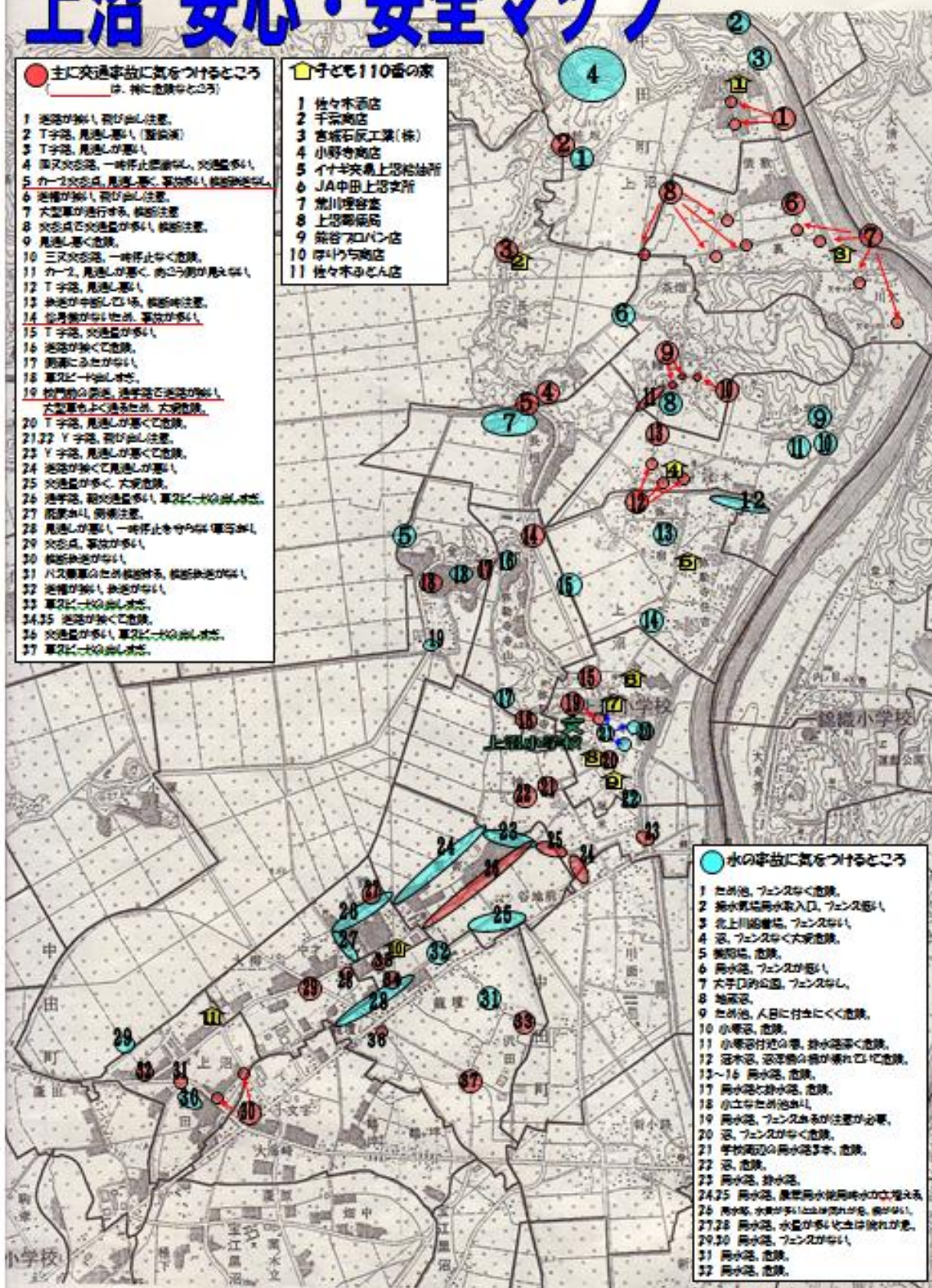
# 上沼 安心・安全マップ

## ●主に交通事故に気をつけるところ (※特に危険なところ)

- 1 道路が狭い、飛び出し注意。
- 2 T字路、見通し悪い(壁設置)
- 3 T字路、見通しが悪い
- 4 国又交差点、一時停止無視多し、交差点多し。
- 5 カーブ交差点、見通し悪く、事故多し、横断歩道多し。
- 6 道路が狭い、飛び出し注意。
- 7 大型車が通行する、横断注意
- 8 交差点で交差点が多し、横断注意。
- 9 見通し悪く危険。
- 10 三又交差点、一時停止なく危険。
- 11 カーブ、見通しが悪く、向こう側が見えにくい。
- 12 T字路、見通し悪い
- 13 歩道が中断している、横断時注意。
- 14 歩道幅が狭い、事故が多し。
- 15 T字路、交差点が多し。
- 16 道路が狭くて危険。
- 17 側道にぶつかる。
- 18 車道にぶつかる。
- 19 歩道の狭い、通学路と道路が狭い、大型車も多く通るため、大気汚染。
- 20 T字路、見通しが悪くて危険。
- 21,22 Y字路、飛び出し注意。
- 23 Y字路、見通しが悪くて危険。
- 24 道路が狭くて見通しが悪い
- 25 交差点が多く、大気汚染。
- 26 通学路、朝の通学多し、車道にぶつかる。
- 27 横断歩道、横断注意。
- 28 見通しが悪い、一時停止を無視する車多し。
- 29 交差点、事故が多し。
- 30 横断歩道がない。
- 31 歩道幅が狭い、横断歩道がある、横断歩道がない。
- 32 道路が狭い、歩道がない。
- 33 車道にぶつかる。
- 34,35 道路が狭くて危険。
- 36 交差点が多し、車道にぶつかる。
- 37 車道にぶつかる。

## 🏠子ども110番の家

- 1 桂々木酒店
- 2 千宗商店
- 3 吉城石炭工業(株)
- 4 小野寺商店
- 5 イナキ実業上忍給油所
- 6 JA中田上沼支所
- 7 兼川理容室
- 8 上沼郵便局
- 9 兼谷アロバン店
- 10 母川ウチ商店
- 11 桂々木みどり店



## ●水の事故に気をつけるところ

- 1 せせが池、フェンスなく危険。
- 2 排水溝に排水取入口、フェンスがない。
- 3 北上川遊歩場、フェンスがない。
- 4 沼、フェンスなく大気汚染。
- 5 側道、危険。
- 6 排水溝、フェンスがない。
- 7 大手口の公園、フェンスなし。
- 8 地蔵沼。
- 9 せせが池、人目に付にくく危険。
- 10 小沼沼、危険。
- 11 小沼沼付近の沼、排水溝なく危険。
- 12 沼水沼、沼水溝の横が壊れて危険。
- 13~16 排水溝、危険。
- 17 排水溝と排水溝、危険。
- 18 小沼沼せせが池、危険。
- 19 排水溝、フェンスあるが注意が必要。
- 20 沼、フェンスがなく危険。
- 21 学校の周辺に排水溝の本、危険。
- 22 沼、危険。
- 23 排水溝、排水溝。
- 24,25 排水溝、農用排水用排水の立派な。
- 26 排水溝、水が干りに出ると危険、横断がない。
- 27,28 排水溝、水量が多くと水は流れが速い。
- 29,30 排水溝、フェンスがない。
- 31 排水溝、危険。
- 32 排水溝、危険。

# 上沼地区マップ



# ・住民アンケート用紙

## うわぬま 元気プロジェクト！ 上沼の今を考えて、未来をつくるために

まちづくり計画スタート！！

**すべての人の声が必要です。**

ご意見カードに決まりはありません。  
お好きなようにお書きください。

**たくさんの声を整理・分類  
ていねいに話し合います。**

みなさんの声で今の上沼が見え  
未来の上沼に生まれ変わっていきます。

“うわぬま 元気プロジェクト！”がスタートしました。  
まずは上沼にお住いの皆様からたくさんのご意見をいた  
だきたいと考え、アンケートを実施することにしました。  
なにとぞご協力をお願いいたします。

平成 25 年 9 月 19 日  
上沼地区まちづくり計画策定委員会  
委員長 遠藤 教義

**暮らしやすい、  
たのしい上沼をつくりましょう。**

**アンケートによる 参加期間** 9/19 (木) ~ 9/27 (金)

①基本アンケートと②ご意見カードは 9/27 までに区民さ  
んが回収いたします。ご意見カードが足りない場合、ふれあ  
いセンターにカードのご用意がありますので、ご利用くださ  
い。

■アンケートに関する問合せ先  
上沼ふれあいセンター TEL 34-2002

**住民参加のまちづくり計画進め方**

平成 25 年度	委員会
8 月	アンケート実施
9 月	作業部会
10 月	↓
	みなさんの声の 整理・分類・検討
2 月	↓
	仕組みづくり・まとめ
3 月	↓
	地域まちづくり計画完成後、 みなさんへ報告します。
平成 26 年度	↓
	計画した事業の実施
3、5 年後…	↓
	一つずつ実施・見直し しながら続けます。

### うわぬま 元気プロジェクト！

平成 25 年 9 月 27 日締切

#### ① 基本アンケート

上沼地区まちづくり計画策定委員会

※アンケートの内容は本計画策定以外には使用いたしません。

- **行政区** を○で囲んでください。  
・弥勒寺南 ・弥勒寺北 ・金谷 ・寺山 ・長根 ・長崎 ・冠木  
・八幡山 ・本宮 ・大泉 ・神ノ木 ・要害 ・大柳 ・新田 ・籠窪
- **世帯主** の情報をご記入ください。  
性別: 男・女 年代: 歳代  
職業: ・会社員 ・公務員 ・農業 ・自営業 ・学生 ・専業主婦 ・その他  
(○で囲んでください。)
- **ご記入されている方の情報**をご記入ください。  
(世帯主の場合は記入必要ありません)  
性別: 男・女 年代: 歳代  
職業: ・会社員 ・公務員 ・農業 ・自営業 ・学生 ・専業主婦 ・その他  
(○で囲んでください。)
- **世帯の人数**(性別・年代別)欄に該当する人数をご記入ください。

	19 歳以下	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
男							
女							

- 『上沼地区まちづくり計画』をつくることをどう思いますか？(○で囲んでください)  
1. 必要 2. あれば助かる 3. いらない 4. わからない
- 『行事』についてお聞きます。当てはまる欄を○で囲んでください。その他ご意見がある場合は『②ご意見カード』にご記入をお願いいたします。

- ・ふるさとスポーツ祭 ( 継続したい 見直しが必要 廃止したい わからない )
- ・コミュニティ体育祭 ( 継続したい 見直しが必要 廃止したい わからない )
- ・コミュニティまつり ( 継続したい 見直しが必要 廃止したい わからない )
- ・ユニバーサル大会(2月) ( 継続したい 見直しが必要 廃止したい わからない )
- ・やまがっこ ( 継続したい 見直しが必要 廃止したい わからない )

- 下記項目について、困っていること、守り続けたいと思っていること、変えたいと思っ  
ていることなど『②ご意見カード』に記入し、どしどしお寄せください。(下記分類に当  
てはめて項目No.のご記入もお願いいたします。)

項目No.1. コミュニティ行事・趣味的講座  
項目No.2. 防災・安全  
項目No.3. 高齢者を対象とした活動  
項目No.4. その他 … 祭り、環境、子育て、園 など …

### うわぬま 元気プロジェクト！

上沼地区まちづくり計画策定委員会  
平成 25 年 9 月 27 日締切

#### ②ご意見カード

○1カードに1意見をご家族皆さんで好きなだけ書いてください。  
○①基本アンケートの意見項目に該当するNo.を記入してください。  
○足りない場合は用紙をコピーしてください。ふれあいセンターにも用意しています。

ご意見カード

項目No. 4.その他

記入例

学校前の桜並木周辺通学路の草が見  
通しを患くしているときがある。  
こまめに草刈したほうが良い。

職業: 会社員  
行政区: 寺山 性別: 男(女) 年齢: 38歳

ご意見カード

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

ご意見カード

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

ご意見カード

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

ご意見カード

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

ご意見カード

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳



・住民アンケート集計結果

# うわぬま 元気プロジェクト!

基本アンケート集計結果

行政区別回収率

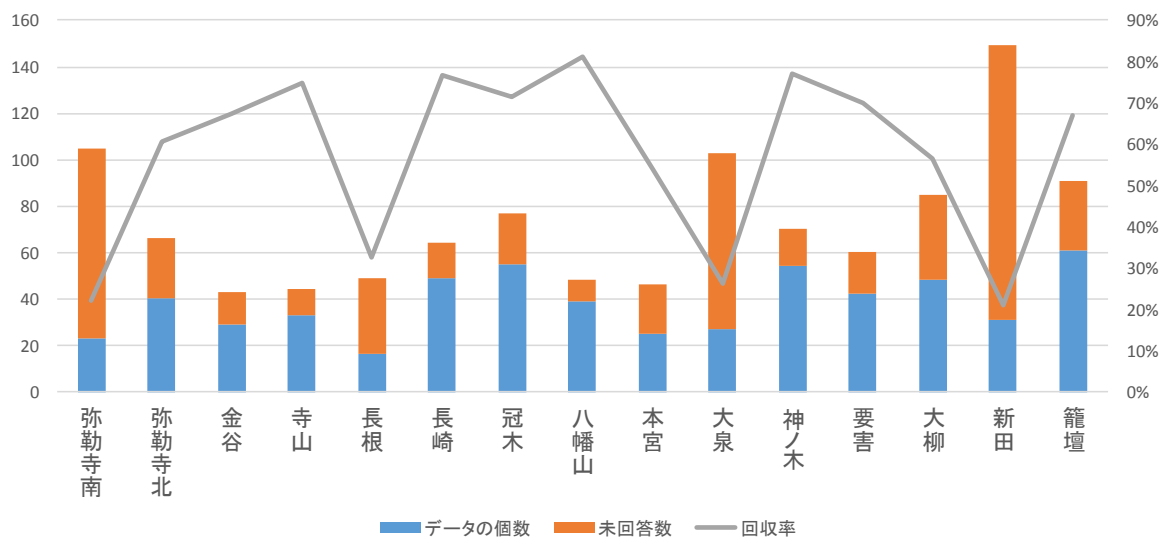
行ラベル	データの個数
弥勒寺南	23
弥勒寺北	40
金谷	29
寺山	33
長根	16
長崎	49
冠木	55
八幡山	39
本宮	25
大泉	27
神ノ木	54
要害	42
大柳	48
新田	31
籠壇	61
<b>総計</b>	<b>572</b>

行政区ごとの全世帯数と回収数を棒グラフ(左軸)、回収率を折れ線グラフ(右軸)で表しています。

回収率が低かった行政区の多くはもともとの世帯数が多かった傾向にある。

行ラベル	データ	全世帯	回収率	未回答数	
弥勒寺南	23	105	22%	82	14
弥勒寺北	40	66	61%	26	9
金谷	29	43	67%	14	7
寺山	33	44	75%	11	4
長根	16	49	33%	33	12
長崎	49	64	77%	15	3
冠木	55	77	71%	22	5
八幡山	39	48	81%	9	1
本宮	25	46	54%	21	11
大泉	27	103	26%	76	13
神ノ木	54	70	77%	16	2
要害	42	60	70%	18	6
大柳	48	85	56%	37	10
新田	31	149	21%	118	15
籠壇	61	91	67%	30	8
<b>総計</b>	<b>572</b>	<b>1100</b>	<b>52%</b>	<b>528</b>	

行政区別回答数&回収率

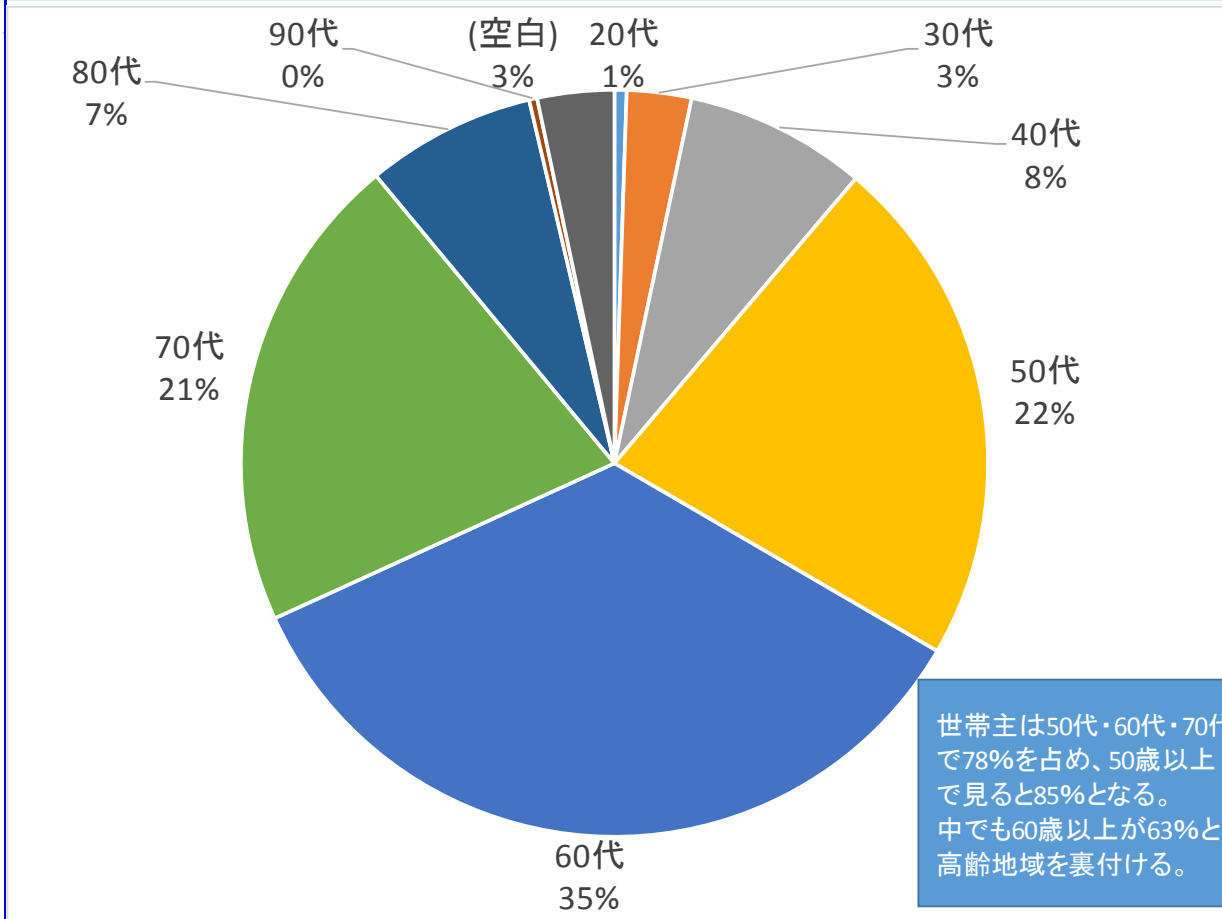


行政区別世帯主年代情報

データの個数 / 行政区

列ラベル

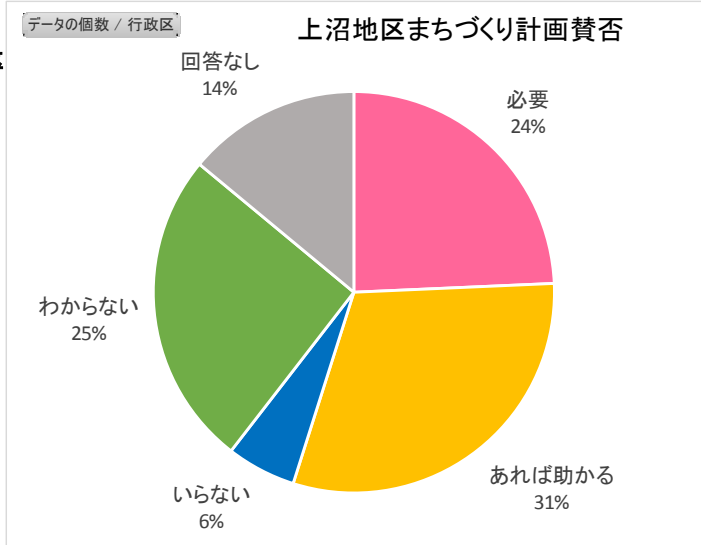
行ラベル	20	30	40	50	60	70	80	90 (空白)	総計
弥勒寺南		2	1	4	9	5		2	23
弥勒寺北		1	6	3	15	10	4	1	40
金谷		1	2	5	13	6	2		29
寺山		1	1	5	9	11	5	1	33
長根				4	6	4	1	1	16
長崎	1	2	5	7	14	12	4	4	49
冠木	1	1	3	17	20	7	4	2	55
八幡山			5	6	16	6	5	1	39
本宮			1	8	11	4		1	25
大泉	1	1	1	7	7	5	4	1	27
神ノ木		2	2	16	16	11	6	1	54
要害			3	14	14	9	1	1	42
大柳		1	6	9	22	6	2	2	48
新田		1	4	8	11	6		1	31
籠壇		3	5	14	16	17	4	2	61
<b>総計</b>	<b>3</b>	<b>16</b>	<b>45</b>	<b>127</b>	<b>199</b>	<b>119</b>	<b>42</b>	<b>2</b>	<b>572</b>



上沼地区まちづくり計画

行ラベル	データの個数 / 行政区
必要	139
あれば助かる	175
いらぬ	32
わからない	146
回答なし	80
<b>総計</b>	<b>572</b>

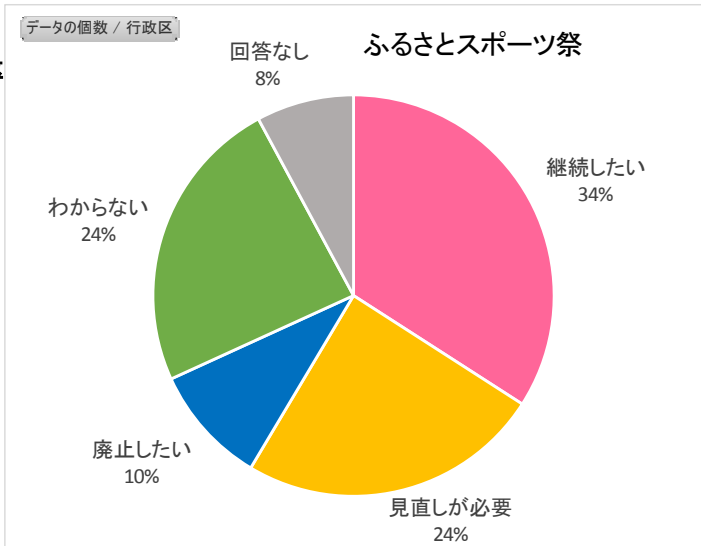
「必要」+「あれば助かる」が半数以上となる結果。  
 「わからない」も1/4あり、今後の情報発信が重要。



ふるさとスポーツ祭

行ラベル	データの個数 / 行政区
継続したい	195
見直しが必要	140
廃止したい	55
わからない	137
回答なし	45
<b>総計</b>	<b>572</b>

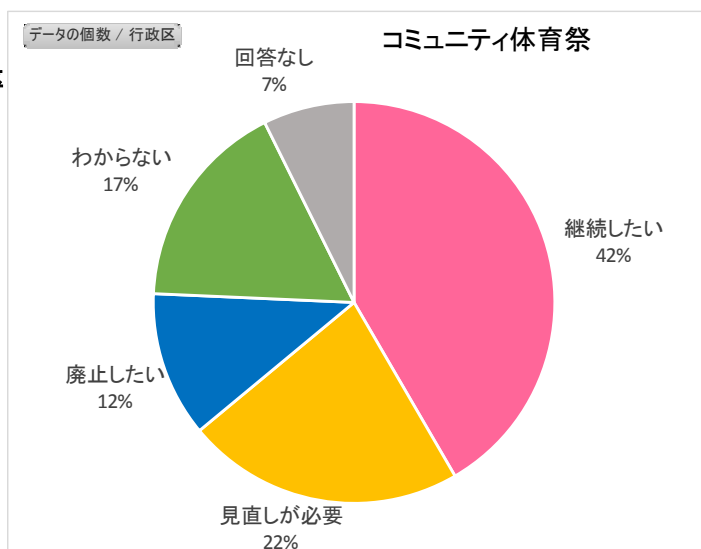
「継続したい」=「見直しが必要」+「廃止したい」。



コミュニティ体育祭

行ラベル	データの個数 / 行政区
継続したい	238
見直しが必要	128
廃止したい	67
わからない	97
回答なし	42
<b>総計</b>	<b>572</b>

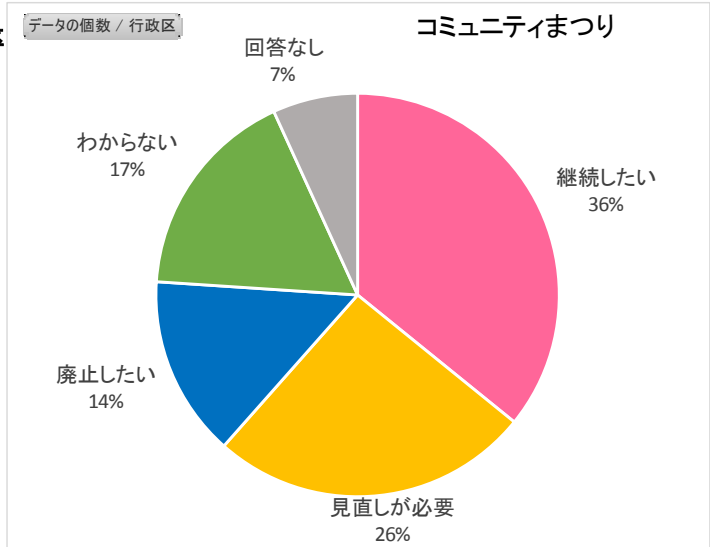
ふるスポと比較し、「継続したい」が10%多い結果。



コミュニティまつり

行ラベル	データの個数 / 行政区
継続したい	205
見直しが必要	147
廃止したい	83
わからない	98
回答なし	39
<b>総計</b>	<b>572</b>

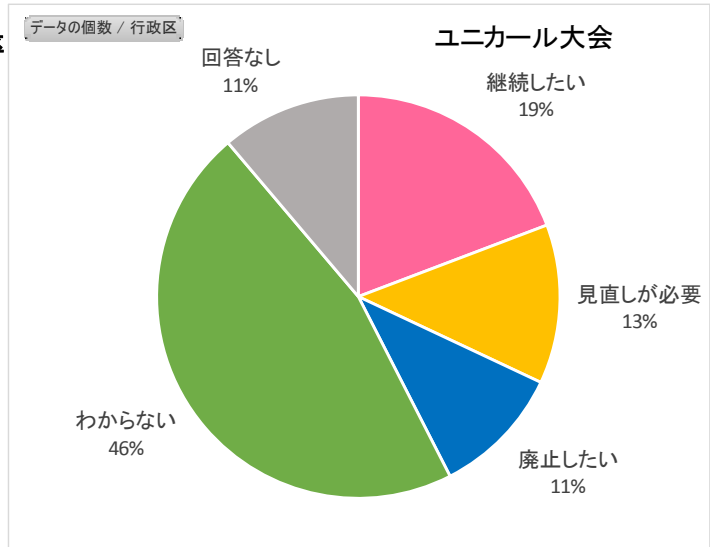
「継続したい」<「見直しが必要」+「廃止したい」。  
「コミュニティ体育祭」と比較し、「継続したい」が少なく、その分「見直しが必要」「廃止したい」が多い傾向が見える。



ユニカール大会

行ラベル	データの個数 / 行政区
継続したい	110
見直しが必要	73
廃止したい	60
わからない	265
回答なし	64
<b>総計</b>	<b>572</b>

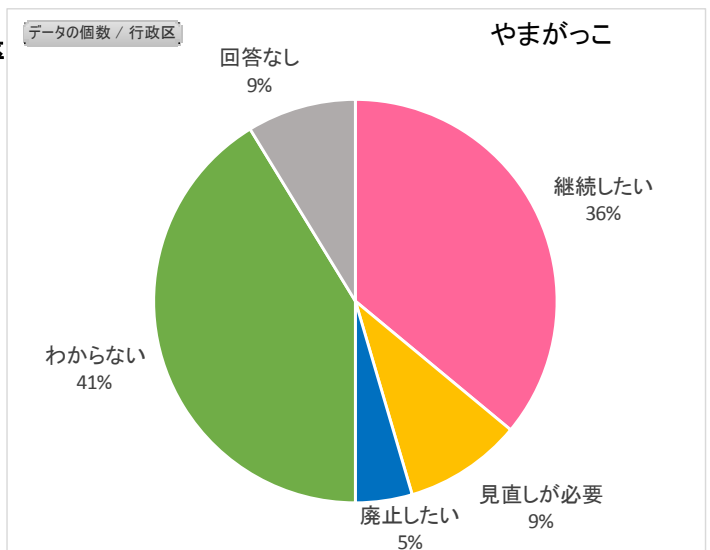
約半数の意見として「わからない」。  
回答なしが多いのも同一と思われる。



やまがっこ

行ラベル	データの個数 / 行政区
継続したい	206
見直しが必要	54
廃止したい	26
わからない	236
回答なし	50
<b>総計</b>	<b>572</b>

子供がいる家庭、いない家庭により判断が分かれる結果。  
「わからない」「回答なし」はユニカールと同じ。



うわめま元気プロジェクト アンケートご意見カード集計

項目No.1. コミュニティ行事・趣味的講座

項目No.2. 防災・安全

項目No.3. 高齢者を対象とした活動

項目No.4. その他 …祭り、環境、子育て、講など

項目No. (すべて)

2014/2/14 14:26

データの個数 / ご意見 カテゴリー	行政区													総計		
	冠木	金谷	金山	新田	神ノ木	大泉	大柳	長根	長崎	南	八幡山	北	本宮		要害	籠道 (空白)
アンケートについて	1			2					1					1	1	6
コミュニティ行事(見直し・反対)	14	8	3	12	9	6	4	2	5	3	6	2	6	8	1	95
コミュニティ行事(賛成)		3	1	1	3	1	1					3		2		15
その他		2	4	2	1	1	1	1	1		1	1			1	14
ふれあいセンターへのご意見								1	4			1			1	7
モラルについて	1		2	2		1	2			2					2	12
やまがっこ(見直し・反対)	1						1								1	3
やまがっこ(賛成)				1	1	1					1				1	3
ユニカル大会(見直し・反対)	1															4
害虫駆除など		1	4	3	1	1	2	2	2	1	1				5	21
環境整備(その他)		2			2		1	2	1	1	3				1	12
環境整備(草刈)	4	5	4		4	4	1	1	1	1	2	1	2	2	3	32
観光	1		1				1			1		1				5
旧上沼小						1					1					2
区長さんへのご意見	1															1
空家について								1	1			1				3
契約講 反対			1	1	1											3
雇用・仕事		2													1	3
公園などの整備	1		2												1	3
高齢者の声・高齢者の生活・福祉	1	7		2	6	1	3	1	2	3	1	1	2	1	8	36
婚活					1			1								2
子供(教育・保育・環境)	1	2			1	1	1							1	1	6
子供の遊び場	2			2		1	1	1						1	5	13
趣味的講座・?		1			1	1	1								1	5
趣味的講座・賛成	5			1	3	3	3	1	3	2	7	1	2	2	4	32
除雪など					1	1				2	1					4
情報交換・話せる場・異世代交流・心のケア	1	1	1	2	2	1	2		1		3				1	14
新しくなる高校														1		1
青年部・盆踊りなど	2	2	3	5	2	1	1		1					2	4	20
全体的なご意見	1	1	1	3	3	3	3	3		1	6	3	1	3	1	33
通学路・環境整備・交通安全	4	2	1	5	9	2	1		3	1	1	2	2	1	2	36
防災	3		1	2						1	2	1	1	1	4	15
防犯		4	1	7	3		2	1	1	1	1	3	2	3	5	35
(空白)																
<b>総計</b>	<b>48</b>	<b>40</b>	<b>36</b>	<b>49</b>	<b>52</b>	<b>23</b>	<b>29</b>	<b>17</b>	<b>25</b>	<b>19</b>	<b>26</b>	<b>37</b>	<b>16</b>	<b>25</b>	<b>56</b>	<b>507</b>

【参考資料】 次の手シートとSWOT分析シート

今後、事業を進める際に、意見をまとめる方法として「次の手シート」や「SWOT分析シート」を活用すると、問題課題や費用の面、そして次の一手を1枚にまとめることができますので、ご活用ください。

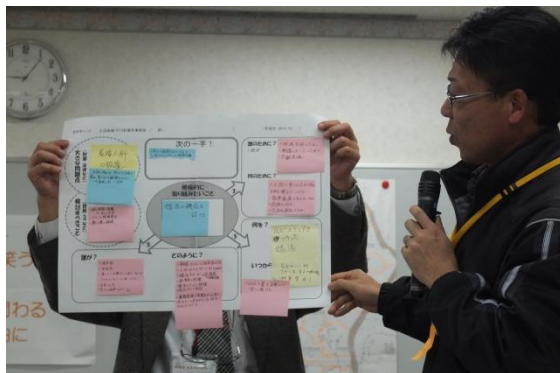
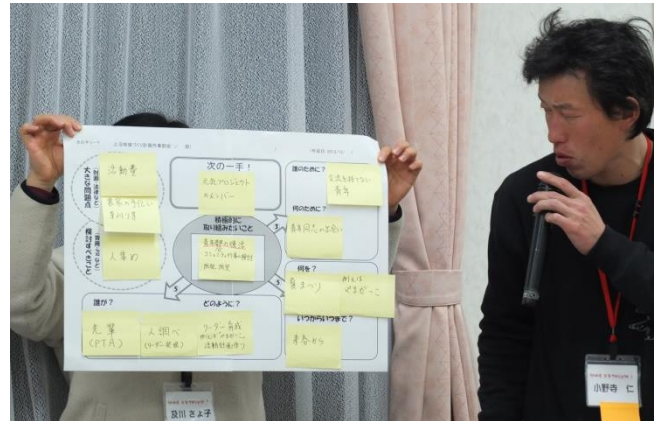
【まとめが終わりましたら、必ず発表しましょう】

発表の効果⇒声に出して表現することで、内容のまとまりが見えてくる。

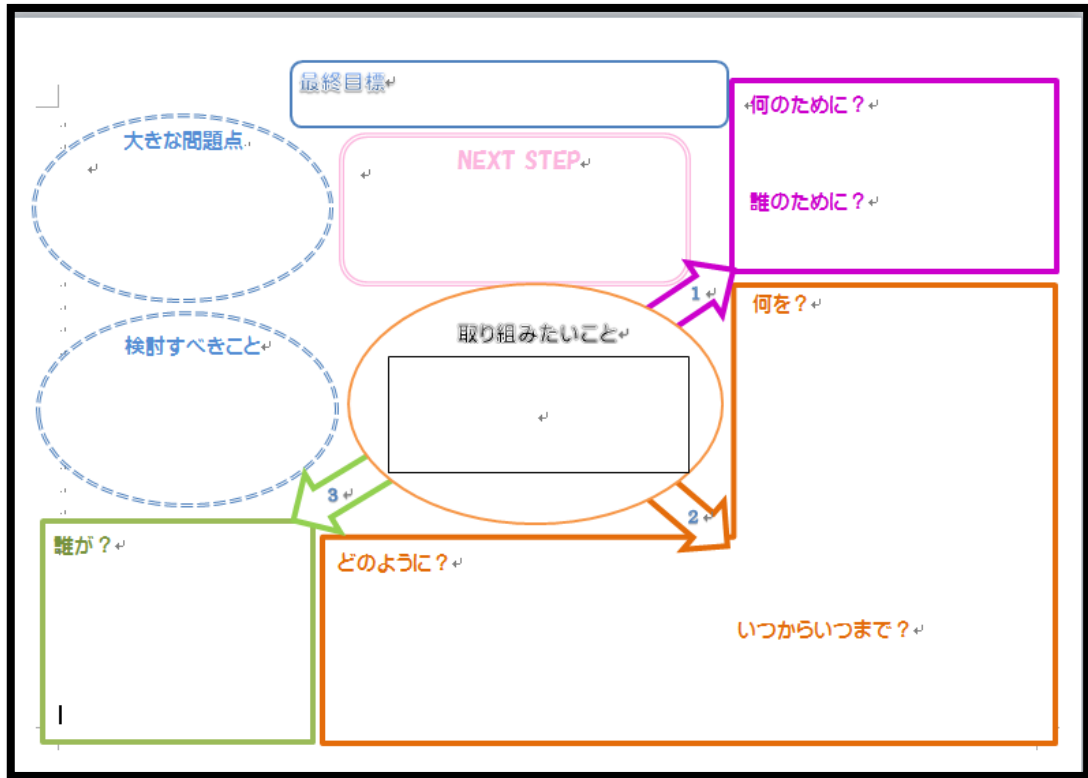
チームで意見をまとめる訓練になる。

担当以外の人と内容を共有できる。

人前でまとめて説明する訓練になる。



【次の手シート】



【SWOT分析シート】

SWOT分析		氏名[_____]	
テーマ	外部環境要因		
	機会(チャンス)	脅威	
内部環境要因	強み(売り)		
	弱み(改善・改良)		

特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

・ 成果報告会の案内

## うわぬま 元気プロジェクト！

上沼の今を考え、未来をつくるために

**500件を超えるご意見、  
ありがとうございます**



**35名の委員でいかに  
整理・分類しました**



平成25年9月にご協力いただきました「うわぬま元気プロジェクト」のアンケートにたくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。6ヵ月の時間をかけ、ご意見の多少、大小にかかわらず、ていねいに整理・分類を行い計画ができました。  
平成26年3月8日  
上沼地区まちづくり計画策定委員会  
委員長 遠藤 教義

**うわぬま 元気プロジェクト！**  
**成果報告会を開催します**

【日時】  
平成26年3月13日(木)  
午後7時00分～

【場所】  
上沼ふれあいセンター  
— ぜひお越しください —

**さあ、これからは  
あなたも一緒に!!**



上沼の中ですべきこと、したいことが見えてきました。これからはみなさんの出席です。自分たちの手で暮らしやすい上沼をつくれるチャンスです。

## うわぬま 元気プロジェクト！

# 上沼まちづくり た〜い 漆 (仮称) 漆員募集!

これからはみなさんのおちからが必要になります。


老若男女、立場にかかわらず、一緒に上沼づくりをしましょう。

- ・・・小中高学生のみなさん
- ・・・1回しか参加できない方でも大歓迎

**上沼について**  
考えたいこと、  
したいこと、  
見直したいこと、  
アイデアをお持ちの方は、  
行政区長や上沼ふれあいセンターにご連絡ください。  
(詳細は別途改めてお知らせします。)

**歴史を感じ、未来を思い、  
住みやすい上沼を  
自分たちの手で作りましょう。**

【ご協力・ご意見の窓口】  
上沼ふれあいセンター Tel 0220-34-2002





## 委員会及び作業部会員名簿

1	弥勒寺南区長	遠藤 教義
2	弥勒寺北区長	浅野 盛志
3	金谷区長	岩淵 栄
4	寺山区長	三浦家壽治
5	長根区長	佐藤 勝
6	長崎区長	菅野 芳治
7	冠木区長	佐藤 芳信
8	八幡山区長	千葉 健一
9	本宮区長	佐々木 隆
10	大泉区長	千葉 賢治
11	神ノ木区長	石川 満夫
12	要害区長	佐藤 一郎
13	大柳区長	堀内 兵治
14	新田区長	畠山 芳郎
15	籠壇区長	畠山 英朗
16	女性部長	菅原 英子
17	文化部長	鈴木 勇次
18	体育部長	佐藤 貴光
19	交通安全協会上沼支部長	小野寺篤朗
20	弥勒寺南区	千葉 信子
22	弥勒寺北区	及川さよ子
24	本 宮	本宮 秀年
25	大 泉	三浦てい子
26	要 害	船島 一芳
28	新 田	小野寺 仁
29	籠 壇	佐々木 尚
30	籠 壇	荒井 功二
31	上沼小学校教頭	小松 英明
事務局	センター長	三浦 勝則
	事務員	小野寺博子
	事務員	畠山 千春
支 援	市民活動支援課	星名 輝紀
	中田総合支所市民課	浅野 孝子
	NPO故郷まちづくりナイン・タウン	伊藤寿郎・二階堂明子



平成25年度 上沼地区まちづくり計画策定事業  
うわぬま元気プロジェクト事業報告書

平成26年3月

発行：上沼コミュニティ運営協議会

策定：上沼地区まちづくり計画策定委員会  
同 作業部会

事業支援：登米市企画部市民活動支援課、中田総合支所市民課

業務委託：特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン